

## 第3回 審議会のふりかえり

## 01

## 「学校再編にあたっての基本的な考え方」について

なぜ、この考え方なの？



## 学校の再編にあたっての基本的な考え方

資料 2



なぜ、この考え方を示しているのかを事務局より改めて説明しました。

その後、この考え方でよいのかを委員から意見をいただきました。

## ①めざす教育について

「令和の日本型学校教育」や第四次答申で示された「門真のめざす教育」は門真市のすべての学校で実現していくものであるため、再編統合を検討する上でも、前提として考えていただきたい。

## ②児童生徒数、③老朽化した校舎について

すべての学校校舎を新しくできれば、①の実現にも大きくつながるが、財政的にも体制的にも非常に困難。そのため、どこから先に手をつけるのか優先順位をつけた上で、学校の再編を進めていきたい。

②については、①の実現(多様な人とのつながりの創出)に向け、既に単学級になっている、また、将来的に単学級となることが見込まれる学校を優先としたい。

③については、①の実現(多様な人とのつながりや多様な学習環境の創出)に向け、過去の大規模改修等の状況も踏まえながら、令和5年時点で築50年以上の学校を優先としたい。

## ④今後のまちづくり、⑤学校の変遷

場当たり的な再編統合にならないよう、対象とする校区や学校だけでなく、門真市全体の学校の将来像をイメージしながら検討を進めていただきたい。  
④⑤はその際の参考として検討いただきたい。

## 【委員からの意見】

⑥として、この審議会では、④⑤の検討も踏まえた上で、門真市全体の学校の将来像を検討するというような内容を付け加えてはどうか。



事務局より⑥を追加した資料をのちほどお示します。

第3回 審議会のふりかえり

02

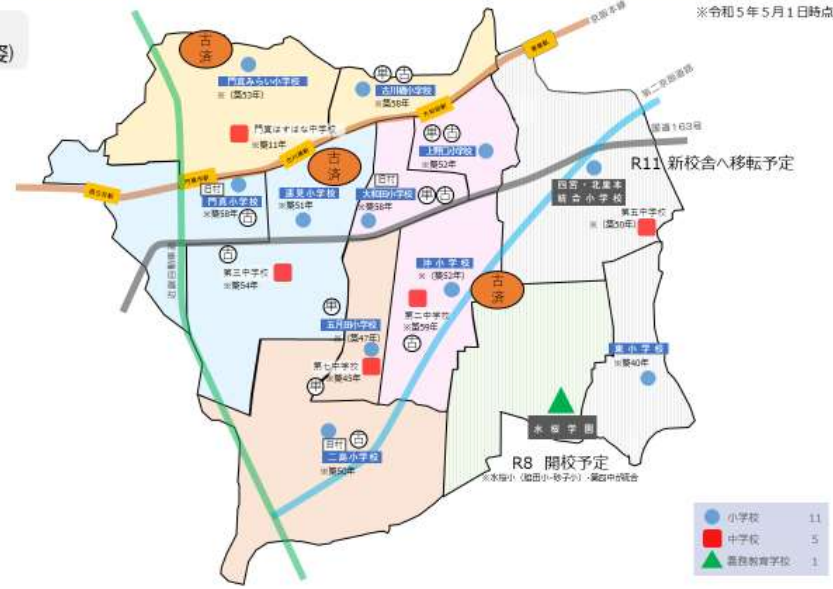
②児童生徒数、③築年数、④まちづくり、⑤変遷について



学校位置図 審議会用 資料3

※令和5年5月1日時点

門真の小学校区  
(第4次実施方針完了後の姿)



【委員からの意見】

単学級では、クラスが固定化され、6年間同じメンバーで学んでいくことになる。  
単学級ならではのよさもたくさんあるが、「多様な人とのつながり」を大切にしたい教育  
を大切にするなら、1学年3クラス程度はほしいと思う。

なぜ、その学校を統合するのか、大規模改修するのかなどについて、自分たちが地域の  
方などに聞かれたときに説明できるように、しっかりと理由を示せるようにしたい。

現在、自治会の加入者が年々減ってきている。自治会自体を統合しよ  
うとしても神社の兼ね合いなどでよい返答をもらえないこともあった。

現在、学校単位で自治会などがあるが、学校と地域を良い意味で切り  
離して考えてはどうか。

京都の例ですと、「校区」と「学区」を分けてました。学区〇〇周年と  
いった形でこれまでの地域の行事をしたりなどしている。

極端に言うと、将来的に門真市に1校でよいのではないかな。それであ  
れば、予算の面や、めざす教育の実現にもより近づけるのでは。

ただ、学校を1校などにした場合、避難所といった面では、  
跡地を活用するなど、いろいろと検討が必要かもしれない。

子どもの数や校舎の古さで見ると、市の中央付近の学校名が多  
いように思います。このあたりの再編が必要かもしれませんね。

子どもたちが安全に通学できるような校区の再編であればよい。  
その上で新興住宅地がどこにあるのかなどの情報を調べておく  
とよいかもしれない。

次回は、本日の議論をもとに、それぞれ皆さんが考えてきた  
アイデアを出していただけたらと思います。



本日も「基本的な考え方」をもとに、議論を行います。